

福岡県動物愛護推進員ニュース「絆」第15号

福岡県動物愛護推進協議会：<http://www.fukuoka-douai.jp/>



人と動物の共生と福祉

人と動物が共生できる社会作りのため地域に密着した動物愛護の普及啓発活動ニュース
福岡県 公益社団法人 福岡県獣医師会

あたしは ほこりたかい にほんいぬ
みみは ピンと たっている
もう おとな
だれかれにでも なつかないわ
いまは おっぼを ふりたくない

あまえられる にんげんは いぶんできめる
あまえかたも いぶんできめる
だから しつこく さわらないで"



はやり？
しばいぬが？
なあに それ？
ちっとも おいしくなさそう

かわいい？
そうよ かわいいの あたし
ママが いつも そういう

あたし
たいせつな ママをまっているところ
あなたの あいてはできない
って おっぼが いうのよ

- 災害時における人とペットの「絆」 -

平成28年4月、熊本県で震度7の地震が2度も発生しました。福岡県でも平成17年3月に西方沖地震がありました。改めて、災害はいつ、どこで発生するか予想できないことを痛感させられました。災害が起これば、人だけでなくペットもパニックになるため、逃げだしたりして飼い主と離れ離れになってしまうことがあります。そうなった場合、大切なペットと二度と会えなくなるかもしれません。

災害という危機的な状況の中で、ペットとの「絆」を切らすことなく、いつまでも一緒に暮らせるよう、飼い主としてすべきことをご紹介します。

● 災害発生時に取るべき行動

▷ まず是人の身の安全確保

ペットを守れるのは飼い主自身です。まずは自分の身を守りましょう。

▷ ペットと一緒に避難

ペットを置き去りにせず、一緒に避難しましょう。ケージに入れて避難する場合は、扉が開かないようにガムテープなどで補強しましょう。

▷ 避難所では周りの人への配慮を

避難所にはペットが嫌いな人やアレルギーの人も集まります。皆で話し合っ、周りに配慮した飼い方のルールを作りましょう。

▷ 車中避難ではエコノミー症候群と熱中症に注意

やむを得ず車中泊する場合は、車内の温度管理と水分補給、適度な運動を心がけましょう。

● 日頃からしておくべき準備

▷ 首輪の緩みや鎖の劣化はないか？

災害が起こってパニックになると、外れたり切れたりすることもあります。

▷ しつけや健康管理はできているか？

避難所では、ペットの鳴き声や臭い、ノミ・ダニなどがトラブルの元になりやすいので、日頃からしつけや予防をしておきましょう。

▷ 飼い主が分かるものを身につけているか(迷子札やマイクロチップ)？

万が一離れ離れになっても飼い主の元に戻ってくる可能性が高まります。携帯電話にペットと一緒に撮った写真を保存しておくのも良いでしょう。

▷ 必要最低限の物資を持ち出せるか？

フードと水(7日分以上が望ましい)、定期薬、食器、予備の首輪とリード、ガムテープ、トイレ用品など、支援物資が届くまで必要な物資は、いつでも持ち出せるようリュックなどにまとめておきましょう

マイクロチップの写真



(環境省提供)

引越越し、子供の成長、定年退職などを機に、犬を飼い始めようという方は多いと思います。

ペットショップで購入する人もいますが、最近は動物愛護センターや保健所から譲渡という方法を選択する方も増えています。

その際、多くの方は「子犬」を希望されます。

しかし、最近、保健所や動物愛護センターで保護・譲渡される子犬は減ってきています。

理由として、不妊去勢する人が増えたこと、放し飼いする人が減ったこと、野犬が減ったことなどが考えられます。

(これはたいへん喜ばしいことです)

では、子犬がない場合はどうしますか？

ペットショップで可愛い子犬を選んで買うという方法もあります。

一方、動物愛護センターにはすでに大きくなった成犬がいます。

こうした成犬は「なつかない」、「大きすぎる」、「しつけができていない」などの理由で避けられがちです。

・成犬は なつかない？

「犬は子犬から飼わないとなつかない。」というのは誤解です。

犬は飼い主が自分のお世話をしてくれること、遊んでくれること、危険から守ってくれることを通じて飼い主を信頼し、徐々に慣れてきます。

好奇心の強い子犬に比べると時間はかかるかもしれませんが、愛情を持ってお世話をすれば必ず信頼関係が築けます。

・成犬は 大きすぎる？

「室内で飼うので小型犬の子犬が欲しい。」と思って子犬を飼い始めて、「思ったより大きくなった。」という飼い主は少なくありません。

しかし、成犬はすでに成長が止まっているため、それ以上大きくなることはありません。

「これぐらいの大きさの犬を飼いたい。」というイメージがある方には、むしろ成犬が向いているのです。

・成犬は しつけができていない？

子犬の性格は成長するに従って変わってくるため、「咬み癖がついた。」、「散歩の時に引く張る。」などの行動に悩む飼い主さんがいます。

一方、成犬は性格ができあがっており、動物愛護センターで時間をかけて入念にチェックしています。

そのため、その犬の長所、短所がハッキリしており、センターから飼い方のアドバイスもしやすいのです。

子犬、成犬それぞれにメリット、デメリットがあります。

そうした点を踏まえて、成犬の譲渡も選択肢に加えてみてはいかがでしょうか。



タツク



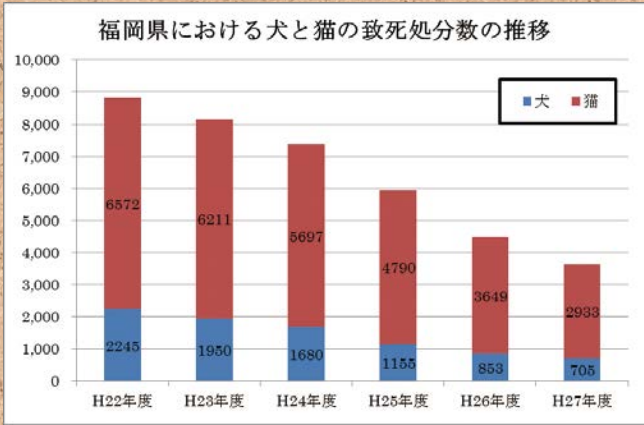
ボンサイ



のの



ぷるる



たまご



とろろ



もみ



はれお

平成28年4月に熊本地震がありました。私は福岡の自宅で体験しました。

最初携帯電話から警報音が鳴り、なんだろうとかまえる間もなく揺れ始めました。

私は犬のしつけ方インストラクターをしており、お客様に緊急時の対応をお話することもあります。その瞬間、できることは限られていました。

まずは、大型犬の首輪を捕まえリードにつなぐ準備をしなが、猫たちをクレートに入れられるかどうか判断するために、あたりを見回し猫の居場所を確認しました。

この動きだけで、揺れはおさまり事なきを得たのですが、避難袋をチェックしながら、正直、療養中の母が入院をしていて良かったと感じました。

一人の人間がとっさにできることは限られています。救う為に気にかける命の数も、一人の人間には限界があるように感じました。

その後、何度も警報音を聞く生活が続き、しつけ方教室のお客様には、警報音がなったら、ペットが好きなオヤツをあげるようにすすめました。

また余裕があったら、動物を運ぶクレートを常に逃げられるルートに設置しておいて

警報音がなる → オヤツを出す → 動物をクレートの中に誘う → クレートにオヤツをばらまく、

という手順をすすめました。最初は、警報音と揺れに敏感になっていたペットたちも、次第に落ち着きを取り戻したようでした。

しかし、これはあくまでも、福岡県の揺れが小さく、警報で終わり、大きな被害にならなかったからです。

「いざというとき、救える命の数は、一人の人間には限界がある」と実感した私はかねてより、この「絆」でお伝えしてきた、VMATの動物救護サポーターになりたく講習を受講してきました。その内容について報告をします。

平成28年12月11日 VMAT 講習会

「動物救護サポーター(ARS)認定講習会」第1回 が開催されました。

福岡県獣医師会が組織しているVMAT(災害時派遣獣医療チーム)が、さらに救護体制を充実させるためにVMATをサポートして避難所やシェルター等で活動することができる「動物救護サポーター(Animal Rescue Supporters ARS:アース)」を認定登録するはこびとなりました。

認定されるには、福岡県獣医師会が実施する2回の講習会を受講し、認定試験に合格する必要があります。今回はその第1回目の講習に参加しました。参加者数は、定員50名を越し、日曜日の獣医師会館で丸一日学びました。

当日のカリキュラムは

- ①救命救急講習
- ②災害概論
- ③VMATの運用
- ④災害シュミレーション
- ⑤平常時の準備対応



すべてをお伝えすることは 不可能ですが 印象に残ったことをお知らせします。

救命救急講習

福岡中央消防署の協力を得て「人間」を助けるための救命救急講習です。

負傷者を発見し、救命救急に入る手順。AEDの使い方等、見本をみせてもらい実習訓練します。

消防署の隊員から教えるには、3つの意味があるそうです。

- ①災害地で人と動物が被災していたら、まずは人間を助けるすべをもつ。
- ②人間の救命救急法を知っていたら、その基本は動物にも通じる。
- ③消防署との連携により、VMATの活動があることを広く知ってほしい。



平常時の準備対応

「日本ってこんな国」という紹介がありました。

- ・4枚のプレートがひしめきあってる上にある
- ・2,000もの活断層がある
- ・国土の7割が山地である
- ・世界の大地震のうち2割が日本で発生している
- ・世界で4番目の多雨国である
- ・110以上の活火山がある
- ・国土の10%の「洪水氾濫区域」に総人口の約50%が居住し全資産の75%がそこに集中している



だから、「災害は文字通り『いつでも我が身におこりうる』という視点からひとつひとつの課題について考えてみましょう」と講師の先生が話されました。

これを聞いたとき、そうか、それが日本か、その中で奇跡のように長い間平和だと思って生きているなあと、実感させられました。



最後は、VMATの制服を着た先生方に質疑応答。あらゆる質問に丁寧に熱心にお答えいただきました。



動物にも その動物らしく行動をする自由があります。
かわいそう、助けてだけではない譲渡活動の在り方を
考えてみましょう。

犬・猫の譲渡活動における動物福祉を考える

譲渡会にいる犬や猫の気持ちを表現してみました。

お散歩したい 遊びたい ずーっとケージやサークルの中は嫌だ

サークルの中の動物数多くて動き回れない 知らない人がたくさん目を見るから怖い

知らない人がいきなり触るって嫌だ 抱っこも嫌だ 隠れたいけど隠れる場所がない

逃げ出したい ケージの外に出るのが怖い ちょっと休憩したい



犬編

活動の前後に犬のお散歩や遊びは出来ていますか？
ケージやサークルの広さはその犬にあっていますか？
怖がりの犬たちに目隠しなどで人目を少し遮る工夫をしていますか？
初めて会う人へ慣れさせる事もせず抱っこなどさせていませんか？

猫編

ケージは3段ケージなど猫が動けるケージを用意できていますか？
その中に隠れられる場所はありますか？
怖がりの猫のケージには目隠しなどの工夫をしていますか？
初めて会う人へ慣れさせる事もせず抱っこなどさせていませんか？

つぎに繋げるために犬や猫の育てかたや譲渡の方法における動物福祉を考えてみませんか？
譲渡活動は、その犬や猫たちにとって社会化トレーニングの場になります。

- はじめての環境に慣れるためのトレーニング
- はじめての人に慣れるためのトレーニング
- その他、物音に慣れるためのトレーニング

たとえ、一時的な保護であっても犬・猫たちには『その時・その場所』が大事な経験になります。
人の社会に慣らすトレーニングをわりなく優しい方法で行うことが人との良い絆をつくることとなり新しい家庭へと行ったときお互いに幸福を感じることができます。

共に生きようプロジェクト イベントを開催しました

パネルによる啓発

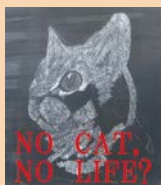


作家ブース



その他

相談ブース
ステージイベント等



協賛者:企業78社 個人52名 合計130件
来場者:2日間で約4500名
期 間:平成28年10月22日(土)23日(日)
10:00~17:00
場 所:福岡市中央区大丸福岡店
パサージュ広場

先進国と言われている日本、人と動物との関係はまだ発展途上というのが現状です。福岡市内では1日約20匹以上の猫の死体が路上から回収されています。この現状を一人でも多くの方に知っていただく事が、問題解決の第一歩であり、それにより福岡における人と猫の関係が改善する方向へ進むのではないかと考えました。また行政の方々も同様に、猫達の現状に心を痛め、飼育指導やのら猫による地域環境衛生問題、人間関係の解決に奔走しています。動物愛護団体の方々も保護活動や啓発、新しい家族探し、命のリレーとそれぞれが三者三様に出来ることを実施していましたが、今回自治体、団体、学生ボランティア等々が一体となり繁華街天神で啓発イベントの開催をしました。

動物愛護 教室

日 時:平成28年8月25日(木)

場 所:春日小学校

参加者:春日小学校(1年~6年生)26名、職員3名

内容: 動物の命の大切さや飼育動物について学ぶ

- ①映写「ちよっちおねがい(読み聞かせ)」
- ②講話「いのちの方程式(香川県作成スライド)」
- ③飼い犬とのふれあい

「犬との接し方、犬の心音を聴く、

動物を触った後は必ず手を洗おう」

※講話終了後に生徒全員に修了証書を交付

子供にもわかりやすいアニメーションを使って、犬猫の致死処分の現状や収容されている犬猫を救うために自分たちができることを学び、命の大切さや動物を思いやる気持ちを持つきっかけになりました。



筑紫保健福祉環境事務所

住 所：大野城市白木原3丁目5-25筑紫総合庁舎内
電話番号：092-513-5599
管轄区域：筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・筑紫郡

平成29年度事業予定

- 6月 飼い主のマナーアップ推進キャンペーン
- 8月 動物愛護教室(春日市)
- 10月 動物愛護フェスティバル
- 10月 春日市環境フェア
- 10月 ペットのフナー掃大作戦(春日市)
- 11月 犬のしつけ方教室
- 11月 かすがっ子ワイワイまつり(春日市)
- 3月 ペットのフナー掃大作戦(春日市)

粕屋保健福祉事務所

住 所：糟屋郡粕屋町戸原東1丁目7-26
電話番号：092-939-1744
管轄区域：古賀市・糟屋郡

平成29年度事業予定

- 6月 飼い主のマナーアップ推進キャンペーン
- 11月 飼い主のマナーアップ推進キャンペーン

糸島保健福祉事務所

住 所：糸島市浦志2丁目3-1 糸島総合庁舎内
電話番号：092-322-3268
管轄区域：糸島市

平成29年度事業予定 ※年間を通して「わんにゃ〜ねつと」を実施

- 4月 狂犬病予防注射会場での啓発
- 5月 狂犬病予防注射会場での啓発
- 6月 飼い主のマナーアップ推進キャンペーン
- 10月 糸島動物いきいきフェスタ
- 11月 飼い犬のしつけ方教室
- 11月 飼い主のマナーアップ推進キャンペーン
- 12月 動物慰霊祭

宗像・遠賀保健福祉環境事務所

住 所：宗像市東郷1丁目2-1 宗像総合庁舎内
電話番号：0940-47-0344
管轄区域：中間市・宗像市・福津市・遠賀郡

平成29年度事業予定

- 6月 犬のしつけ方教室(遠賀・中間)
- 8月 夏休み犬の育て方セミナー(宗像)
- 10月 犬のしつけ方教室(遠賀・中間)
- 11月 飼い主のマナーアップ推進キャンペーン
- 11月 ドッグマンス行事「犬の育て方セミナー」(宗像)
- 3月 春休み犬の育て方セミナー(宗像)

嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所

住 所：飯塚市新立岩8-1 飯塚総合庁舎内
電話番号：0948-21-4973
管轄区域：直方市・飯塚市・宮若市・嘉麻市・鞍手郡・嘉穂郡

平成29年度事業予定

- 6月 動物の適正飼養街頭キャンペーン
- 8月 動物愛護啓発活動
- 10月 動物愛護啓発活動
- 11月 飼い主のマナーアップ推進月間イベント「ペットと生きる」
- 2月 動物愛護啓発活動

田川保健福祉事務所

住 所：田川市伊田3292-2 田川総合庁舎内
電話番号：0947-42-9309
管轄区域：田川市・田川郡

平成29年度事業予定

- 6月 お散歩マナーアップキャンペーン
- 6月 家庭動物適正飼養マナーアップ街頭キャンペーン
- 11月 秋祭り等イベントにおける動物愛護啓発

北筑後保健福祉環境事務所

住 所：朝倉市甘木2014-1 朝倉総合庁舎内
電話番号：0946-22-2741
管轄区域：小郡市・うきは市・朝倉市・朝倉郡・三井郡

平成29年度事業予定

- 5月 動物適正飼養街頭キャンペーン(朝倉市民祭)
- 6月 動物愛護教室
- 6月 動物適正飼養街頭キャンペーン
- 7月 夏休み親子動物愛護教室
- 10月 犬のしつけ方教室
- 10月 ペットスケッチコンクール作品展
- 11月 犬のしつけ方教室(小郡市)
- 11月 動物適正飼養街頭キャンペーン(大刀洗ドリームまつり)
- 11月 動物愛護教室
- 11月 パネル展示
- 3月 春休み犬のしつけ方教室

南筑後保健福祉環境事務所

住 所：柳川市三橋町今古賀8-1 柳川総合庁舎内
電話番号：0944-72-2163
管轄区域：柳川市・八女市・筑後市・大川市・みやま市・三瀬郡・八女郡

平成29年度事業予定

- 4月 狂犬病予防注射会場での啓発
- 5月 狂犬病予防注射会場での啓発
- 6月 飼い主のマナーアップキャンペーン
- 9月 動物愛護教室(複数小学校)
- 10月 動物愛護教室(複数小学校)
- 11月 動物愛護教室(複数小学校)
- 11月 犬のしつけ方教室
- 12月 動物愛護教室(複数小学校)
- 1月 動物愛護教室(複数小学校)

京築保健福祉環境事務所

住 所：行橋市中央1丁目2-1 行橋総合庁舎内
電話番号：0930-23-2245
管轄区域：行橋市・豊前市・京都郡・築上郡

平成29年度事業予定

- 6月 街頭キャンペーン
- 9月 動物愛護推進週間(街頭キャンペーン)
- 11月 老犬との暮らし方教室
- 1月 犬のしつけ方教室
- 2月 犬のしつけ方教室

大牟田市動物管理センター

住 所：大牟田市大浦町14
電話番号：0944-52-7493
管轄区域：大牟田市

平成29年度事業予定

- 6月 県下一斉マナーアップキャンペーン(ゆめタウン)
- 9月 動物慰霊祭(センター)
- 11月 犬との暮らし方教室(労働福祉会館)
- 11月 飼い主のマナーアップ推進キャンペーン(ゆめタウン)

公益財団法人 福岡県動物愛護センター <http://www.zaidan-fukuoka-douai.or.jp/>

住 所：古賀市小竹131-2 電話番号：092-944-1281

平成29年度事業予定

犬のしつけ方教室

一般コース (講義1回) 一般コースでは、犬連れでの参加は出来ません。

4月16日、6月18日、7月16日、8月20日、10月15日、11月19日、12月17日、
H29年：1月21日、2月18日、3月18日

子犬コース (講義1回・実技2回) 参加する子犬は狂犬病予防接種とワクチン注射の接種が必要となります。

6月8日(講義)・15日(実技)・22日(実技)・9月7日(講義)・14日(実技)・21日(実技)
11月2日(講義)・9日(実技)・16日(実技)・3月8日(講義)・15日(実技)・22日(実技)

事前講習会 (子犬の譲渡には事前講習会の受講が必要となります。)

4月5日・16日、5月10日、6月7日・18日、7月5日・16日、8月2日・20日、9月6日・17日
10月4日・15日、11月1日・19日、12月6日・17日
H29年：1月21日、2月7日・18日、3月7日・18日

犬・猫の譲渡：犬 / 事前講習会受講後、個別面談の結果譲渡可となった方に後日随時譲渡
猫 / 随時個別面談の結果譲渡可となった方に後日随時譲渡

猫と幸せに暮らすための講座 7月12日・9月17日・11月8日

新規ボランティア研修会 4月5日・6月7日・8月2日・10月4日・12月6日・2月7日

センターオープンデー 5月21日

夏休み動物愛護教室 7月26日・8月16日

その他、ワンパク同窓会・譲受団体研修会・ボランティア研修会・保健福祉(環境)事務所との研修会及び情報交換会・譲渡犬の里帰り会、地域での子犬の譲渡会・愛護教室・しつけ方教室・その他のイベントは、各関係機関へお問い合わせ下さい。また、福岡市・北九州市・久留米市につきましては当該市にお問い合わせ下さい。

福岡県動物愛護推進員について

動物愛護管理法に基づいて福岡県知事から委嘱を受けたボランティアです。県内の各地域で、動物の愛護と管理、特に犬や猫の適正飼養や不要な繁殖の防止(不妊去勢処置)などの普及啓発について、様々な活動を展開しています。福岡県では、動物愛護推進協議会を組織して推進員の活動を支援しています。



メバリ

福岡県獣医師会 事務局長

11月22日を「ペットに感謝する日」として、ペット関連会社が制定したニュースがあった。ワンワン・ニャンニャンの語呂合わせである。私たちに寄り添い癒やしてくれるペット達が幸せで居てくれるように願います。そんな中、最近の猫ブームに際しての「その裏側で」いろいろな問題が起っている。インターネットで「猫ブームの陰で」を検索するとビックリする数の話題がヒットする、それも各マスコミ大手新聞各社が取り上げ社会現象の一つである。ペットは家族、何年前だったか映画で観た「犬と私の10の約束」を思い出した。10番目の約束「私が死ぬときお願いです、そばにいてください。どうか覚えていてください、私はずっとあなたを愛していたことを」。涙が出てきますよね…



「絆きずな」第15号の発刊に寄せて

(公社)福岡県獣医師会は福岡県からの委託事業として、動物愛護思想の普及啓発を行っています。その一環として動物愛護推進員ニュース第1号が2003年1月に創刊され、15年が経ちます。県の動物愛護推進協議会が2002年(平成14年)に設置され、翌年からの発刊という事であります。

その間福岡県の犬・猫の致死処分頭数が「全国ワースト1」との報道がなされ、絆でも2006年から毎年掲載し2010年やっとワースト1から抜け出しました。これも動物愛護推進協議会の役割が大きく、絆等による啓発のたまものです。現在、致死処分頭数は当初の4分の1に減少しておりますが、まだまだ全国上位です。今後は現在取り組んでいるのら猫対策を地道に実施していく事が重要で、目に見える効果が徐々に出てくるものと考えております。

これからも皆様方と一体となり県民の動物愛護思想を高め、人と動物が共存する社会づくりに努めてまいります。

公益社団法人
福岡県獣医師会 会長 草場 治雄

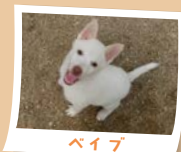


人と動物が共生できる住みよい社会のために飼い主のモラルとマナーが大切です

犬を飼うときの6つのルール

- その1 犬の登録・狂犬病予防注射をする
- その2 放し飼いはしない
- その3 フンを持って帰る
- その4 不妊・去勢手術をする
- その5 きちんとしつける
- その6 最後まで責任を持って飼う

◆登録鑑札・注射済票は必ず
首輪につけましょう。
個別の番号が付されているので、迷子札のかわりになります。



ベイブ

猫を飼うときの4つのルール

- その1 完全室内飼育に努める
- その2 不妊・去勢手術をする
- その3 首輪と迷子札をつける
- その4 最後まで責任を持って飼う

◆猫は十分なエサと高さを
工夫した空間があれば、
特に広い生活空間を必要と
しないので、近隣への配慮と猫の健康・安全を守ると
いう二つの観点から、完全室内飼育に努めましょう。



ジュルル

編集
後記

うたたね し あし ねこ を 春睡のくの字の足に猫は居り



伝わるかな? 伝えるために…伝われ 伝われ 伝われっ♪

それは願いにも近い、祈りにも近い、叫び。誰も、みな幸福になるために生きているはず。なのに、よるこんでいない命が多いのも現実。「一つでも多くの命が、生まれ出会った奇跡をよろこび、やわからい光でみたまされ、笑顔が増えますように。」「伝えた」イコール「伝わった」ではないから、まだ悲惨な現実は多いからと、自身をいましめ、編集15年目となりました。ご興味のわいたかたは、バックナンバーすべて読んでください。テーマはひとつ、「相手の立場に立つ」シンプルであり、遠い長い道のりです。

JAHA(日本動物病院協会)認定 家庭犬しつけカウンセラー 福島 みゆき

福岡県動物愛護推進員ニュース「絆」第15号

発行者: 福岡県 発行日: 2017年3月

編集者: 公益社団法人 福岡県獣医師会 住所: 福岡市中央区赤坂1丁目4番29号